

令和2年度 隠岐高等学校 学校評価報告書

A：十分に達成できている状況 B：概ね達成できている状況 C：どちらかといえば達成できていない状況 D：ほとんど達成できていない状況
 ※肯定評議の割合＝総数に対する肯定評議(そのうち「とちから」とは「そのうち」の割合(%)、回答のうち「わからない」は除く

教育 目標	重点目標	学校評価実施項目	学校評価質問項目			アンケート結果 【肯定的意見の割合(%)】						評価		自己評価		学校関係者評価	
			教職員	生徒	保護者	*教職員		*生徒		*保護者		R2	R1	取り組み状況と課題、改善策		評価	意見
						R2	R1	R2	R1	R2	R1						
人権尊重の意識を高め、安心して学べる集団づくりを行う。		①人権意識(生徒指導部)	人権・同和教育のホームルーム(年3回)や講演会(年1回)は、人権尊重の自覚を深め、あらゆる差別に対する正しい認識を育てるものとなっていますか。	人権・同和教育のホームルーム(年3回)や講演会(年1回)は、人権尊重の自覚を深め、あらゆる差別に対する正しい認識が身に付くものとなっていますか。	人権・同和教育のホームルーム(年3回)や講演会(年1回)は、お子様の人権尊重の自覚を深め、あらゆる差別に対する正しい認識を育てるものとなっていると思いますか。	100	96	99	94	93	92	A	A	人権意識向上の機会として実施しているHR活動や講演会により、人権に配慮した言動が生徒の中に育ってきていると思われ、一部では心無い言動により相手を傷つけることもあった。今後はさらに人権尊重の自覚を喚起し、学校生活において良好な人間関係を築き、自分自身の自尊感情を育てる取り組みとなるよう、工夫した人権教育を展開していきたい。また、教職員も人権を意識した指導を実践したい。	A	②については生徒・保護者と教職員の評価の差を考えると、家庭と学校とのさらなる情報共有、共通理解が必要ではないか。とくに保護者に向けて、学校の教育目標・重点目標の伝え方や目標達成度の基準の提示などについて工夫が望まれる。	
		②基本的な生活習慣・道徳教育(生徒指導部)	教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっていると思いますか。	教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっていますか。	教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、お子様の基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっていると思いますか。	73	88	96	89	86	85	A	A	生徒が安心・安全な学校生活を送るために様々な取り組みを実施したが、生徒・保護者とも評価が上がっている反面、教職員の評価が大幅に下がった。考えられる理由として、生徒や保護者と教職員が求めている達成度の違いや指導の不足があると考えられる。結果的に基本的な生活習慣や生活態度が身に付いておらず、生徒指導部としての指導の改善が必要である。また、スマホに関しては休み時間に使っているとの声も聞かえてきており、対策を講じる必要がある。校則に関しては、時代の流れの中で変えていかなければならないもの、不変のものを柔軟に考えていく必要がある。			
健康で、確かな学力を身に付けさせ、生徒の自己実現を支援する。 現在と未来の隠岐を支える人材の育成、生徒を育成する	確かな学力を身に付けさせ、生徒の自己実現を支援する。	③学力の向上(教務部)	プロジェクター等のICT機器を用いたり、ペアやグループでの言語活動を取り入れたりした授業など、理解を深め学力を向上させるための工夫をしていますか。	プロジェクター等のICT機器を用いたり、ペアやグループでの言語活動を取り入れたりした授業など、理解を深め学力を向上させるための工夫が行われていますか。		96	92	98	94			A	A	すべての授業においてICT機器の利用率が高く、各教科それぞれに工夫して活用していただいている。研修の機会等があれば、教務部から発信し、さらに効果的な利用につなげたい。また教科会や研究授業・互見授業等をおとして、ICT機器を用いた学習の充実のために情報の共有を図るとともに環境整備に努めたい。	A	③については、今後のオンライン環境整備を含め、学力向上対策の一つとして、島内の小中学校や隠岐の島町教育委員会との連携も必要ではないか。 ⑤の進路実現については、「地元志向が強い」、「医療看護系志望者が多い」などの地域特性を肯定的に捉え、今後も学校と家庭が連携して島の将来を担う人材(財)づくりに取り組んでほしい。進路情報の提供については、進路セミナー等の取り組みをはじめとする保護者へ向けての情報発信や啓発活動をさらに充実させていく必要がある。 ⑤、⑥に共通して言えることは「何のために学習するのか?」「なぜ進学なのか?なぜ就職なのか?」「どんな大人になりたいのか?」などの進路実現や自己実現の観点から、生徒のモチベーションを向上させるための+αが必要ではないか。そのヒントが「学校と地域との連携・協働」にあるのではないかと考える。	
		④家庭学習(教務部)	各教科の日々の課題や年5回の学習時間調査は、家庭学習習慣の定着や学習時間増加(目標：平日2時間程度)につながっていると思いますか。	各教科からの課題や年5回の学習時間調査は、家庭学習習慣の定着や学習時間増加(目標：平日2時間程度)につながっていますか。	各教科からの課題や年5回の学習時間調査は、お子様の家庭学習習慣の定着や学習時間増加(目標：平日2時間程度)につながっていると思いますか。	72	52	69	66	66	66	B	B	教科や学年で学習時間調査の結果を振り返って対策を検討し、全体で共有することにより生徒の指導につなげている。今後も教員間で情報を共有するとともに、家庭における生徒の学習習慣が定着するように、生徒に対しても声かけや情報の発信を行えるよう検討し実施していきたい。			
		⑤進路実現(進路指導部、学年部)	模試や各種検定試験、土曜補習は、進路実現のための学習意欲向上や学力向上につながっていると思いますか。	模試や各種検定試験、土曜補習は、進路実現のための学習意欲向上や学力向上につながっていますか。	模試や各種検定試験、土曜補習は、お子様の進路実現のための学習意欲向上や学力向上につながっていると思いますか。	76	80	81	81	88	88	A	A	模試や補習等は年間予定に基づき実施できた。模試については点数や判定を見るだけで終わってしまう生徒がいるように思われるため、模試の活用の仕方を指導するなどして、学力向上に向けて継続的な取り組みになるようにしていきたい。模試や検定、補習についてはその意義を自覚させるような声かけを引き続き行うことで、学習意欲と学力の向上へつなげたい。授業担当者や学級担任等の情報共有が生徒への具体的な声かけや指導に活かされている点は評価できる。進路実現に向けて、生徒・教員が隠岐の地域特性を肯定的に捉えることも必要である。			
		⑥キャリア教育(進路指導部、教育研究部)	進路講演会や進路説明会(進路ガイダンス)、島内インターンシップ、放課後先生(有木小との連携)、隠岐ジオパーク研究発表会(2年)、キャリア探究(ジオパーク研究)等のキャリア教育は、生徒の自己実現を支援するものとなっていると思いますか。	進路講演会や進路説明会(進路ガイダンス)、島内インターンシップ、放課後先生(有木小との連携)、隠岐ジオパーク研究発表会(2年)、キャリア探究(ジオパーク研究)等のキャリア教育は、自己実現を支援するものとなっていますか。	進路講演会や進路説明会(進路ガイダンス)、島内インターンシップ、放課後先生(有木小との連携)、隠岐ジオパーク研究発表会(2年)、キャリア探究(ジオパーク研究)等のキャリア教育は、お子様の自己実現を支援するものとなっていますか。	85	92	89	91	92	93	A	A	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響等で進路講演会の時期をずらし、進路説明会も一部オンラインにより開催した。キャリア教育については進路指導部と教育研究部が連携し、個々の生徒の自己実現を支援できるよう、より効果的な取り組みしていきたい。			
		⑦生徒理解(学年部、生徒指導部)	「いじめに関するアンケート」(年3回)や生徒面談(およそ学期に2回)、スクールカウンセラー事業などは、生徒一人一人を理解・支援するものとなっていると思いますか。	「いじめに関するアンケート」(年3回)や生徒面談(およそ学期に2回)、スクールカウンセラー事業などは、生徒一人一人を理解・支援するものとなっていますか。	「いじめに関するアンケート」(年3回)や生徒面談(およそ学期に2回)、スクールカウンセラー事業などは、お子様を理解・支援するものとなっていると思いますか。	100	96	87	86	86	89	A	A	各学期1回の「いじめアンケート」の実施や教育相談委員会の毎月の開催、担任の日ごころからの観察により、気になる生徒の実態把握ができた。また保護者との連携もさらに密にしていきたい。個人面談を計画的に実施することによって、生徒と学級担任との良好な人間関係が構築できている。			
		⑧読書活動(教育研究部)	図書企画展示や図書館だより、図書館を利用した授業などは、本に親しむことや図書館利用向上につながっていると思いますか。	図書企画展示や図書館だより、図書館を利用した授業などは、本に親しむことや図書館利用向上につながっていますか。	図書企画展示や図書館だより、図書館を利用した授業などは、お子様が本に親しむことや図書館を利用することにつながっていると思いますか。	68	75	71	72	72	76	B	B	図書館だよりで定期的に図書の案内は行っているが、まだ十分な成果は上がっていない。図書室の利用のしにくさからの読書離れも懸念している。図書室を多目的に使用している面があるため、落ち着いた読書ができる環境づくりに努める必要がある。朝活動(生徒の自主学習の時間)の利用についても検討していきたい。			
		⑨情報発信(総務部、学年部)	ホームページの更新や学校だより「尼寺原」(年4回、町内回覧)などの情報発信は、地域の人への情報提供として十分なものとなっていると思いますか。	ホームページの更新や学校だより「尼寺原」(年4回、町内回覧)などの情報発信は、地域の人への情報を得るものとして十分なものになっていると思いますか。	ホームページの更新や学校だより「尼寺原」(年4回、町内回覧)などの情報発信は、地域の人への情報提供として十分なものとなっていると思いますか。	54	88	86	82	83	84	B	A	新型コロナウイルスの影響で各種行事が中止となり、例年よりホームページの更新回数や「尼寺原」の発行回数が少なくなった。しかし、日々の学校生活を記事としてこまめに発信するよう工夫も必要だったと考える。来年度、ホームページをリニューアルし、生徒や教職員の協力を得ながら、内容の充実をはかり、計画的・効果的に情報発信をしていきたい。			
		⑩保護者との連携(教務部、生徒部、学年部)	学校行事やPTA活動の案内、奨学金制度、学校保健に関することなどは、保護者と学校との連携として十分なものとなっていると思いますか。		学校行事やPTA活動の案内、奨学金制度、学校保健に関することなどは、保護者と学校との連携として十分なものとなっていると思いますか。	85	91			81	79	A	A	学校行事やPTA活動が新型コロナウイルスの影響で少なくなり、保護者との連携は十分にはかれなかった。奨学金制度については、必要とする生徒や保護者に対して適宜通知することができた。学校保健に関しては、定期的な「保健だより」の発行や健康診断結果などを通して情報提供することができた。各クラスにおいては、保護者あて文書用のファイル等を活用し、情報提供があったものを確実に伝えていきたい。また、その重要性についても丁寧に説明することを心がける。			
		⑪教育の魅力化(教育研究部)	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や隠岐ジオパーク研究発表会(2年)は、魅力ある教育活動になっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や隠岐ジオパーク研究発表会(2年)は、魅力ある教育活動になっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や隠岐ジオパーク研究発表会(2年)は、魅力ある教育活動になっていると思いますか。	56	68	88	94	87	87	A	A	隠岐ジオパーク研究は保護者、生徒には魅力ある教育活動として概ね受け入れられている数字となっている。「総合的な探究の時間」という授業としての探究活動のあり方を考えた場合、教員からの評価は想定内の結果である。探究活動が生かされた隠岐ジオパーク研究となるように改善していく。			
		⑫地域と連携した連携される学校づくり	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や地域ボランティア(個人、部活動)への参加、有木小学校への学習支援(放課後先生)などの地域と関わる活動は、地域に開かれた学校づくりにつながっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や地域ボランティア(個人、部活動)への参加、有木小学校への学習支援(放課後先生)などにより、地域との関わりが深まっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や地域ボランティア(個人、部活動)への参加、有木小学校への学習支援(放課後先生)などの地域と関わる活動は、地域に開かれた学校づくりにつながっていると思いますか。	92	96	93	94	92	93	A	A	100人以上の地域の方々に関わってもらうことを目標としているが、今年度は1・2年生の隠岐ジオパーク研究で110人、3年生の隠岐ジオパーク探究では30人に関わっていただき、地域に開かれた学校づくりにつなげることができた。来年度も研究・探究を地域還元できるような発表の機会を設定する。新型コロナウイルスの影響で放課後先生(有木小との連携)の準備等の取り組みが遅くなり、活動開始が1月20日となった。今後の状況に応じて活動内容を再検討していく必要がある。			
⑬学校満足度		学習活動や部活動、資格取得、良好な人間関係の構築、規範意識の育成、進路実現など様々な面において、隠岐高校へ進学してよかったと思いますか。	学習活動や部活動、資格取得、良好な人間関係の構築、規範意識の育成、進路実現など様々な面において、お子様を隠岐高校へ進学させてよかったと思いますか。		90	92	94	95			A	A	生徒・保護者ともに高評価となったが、部活動やキャリア教育等については今後も継続的に確かな情報提供に努め、家庭との連携を密にしていきたい必要がある。				

⑫については、地域の協力を得ながら進めてほしいが役場各支所だけでなく、事前の日程調整をたうえて公民館等にも依頼してみようではないか。

学校の教育活動全体における「主体的な学び」の実現、「情報活用能力」や「コミュニケーション能力」の育成等を目指した様々な取組は高く評価できるが、まだ十分な成果につながっていない部分もある。今後、学校として育成を目指す資質・能力をより明確化し、生徒への意識付けをしつかり行い、さらには地域資源を有効活用することで特色ある学校づくりを推進してほしい。